

ハネゴケ科

ハイハネゴケ

Pedinophyllum truncatum (Steph.) Inoue

兵庫県ランク… C

環境省ランク… —

■ 県内分布

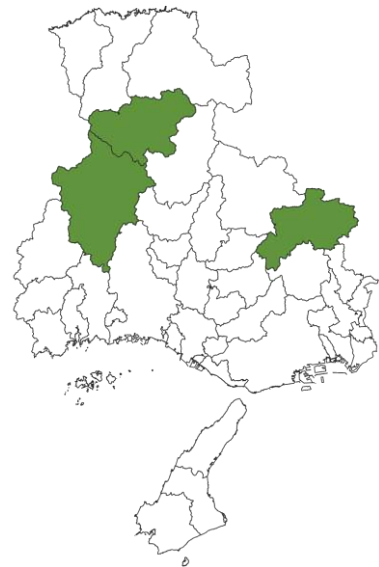
宍粟市、養父市、丹波篠山市

■ 国内分布

北海道、本州、四国、九州

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊		特殊生育環境		特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	
				希少	○



■ 特記事項

丹波篠山市の産地は2007年に生育を確認。2020年版でBランクからCランクに変更した。

■ 保護上の留意点

—

■ 種の概要

植物体は緑色から黄緑色。茎ははって、長さ1-3cm、分枝は少ない。しばしば斜上した茎の途中で側面から頻繁にハネゴケ型に分枝する。葉が途中から折れることや葉の腹面に生じる再生芽によっておうせいに無性生殖する。葉は卵形、円頭、全縁あるいは1-3個の鋸歯をもつ。葉細胞は薄膜で、トリゴンは大きいことが多く、平滑。油体は1細胞に8-14個、楕円形、小粒の集合。腹葉は痕跡的。雌雄同株。落葉樹林から亜高山帯の岩上、朽木上等に密な群落をつくる。